QUALITY ASSURANCE
JIC
REGISTERED
ORGANIZATION
No.0430-ISO9001
ISO9001認証取得



戦いに敗けても挫けず
何度も果敢に挑戦し続けるときも、
熱く、まばゆく燃え続ける。
熾烈な戦いのなかで、
すべての敵を焼き尽くしてしまうまで。



- 日本リーグ唯一の公式試合球
- 全日本実業団連盟主催大会唯一の公式試合球

32H312Y ヌエバ ¥6,825(本体価格¥6,500)
国際公認球・検定球・縫い・人工皮革・3号球
カラー（黄×黒）

32H212Y ヌエバ ¥6,615(本体価格¥6,300)
国際公認球・検定球・縫い・人工皮革・2号球
カラー（黄×黒）
(標記の価格はメーカー希望小売価格)

オリンピック出場を目指して

オリンピックプロジェクトの立ち上げ



㈶日本ハンドボール協会 常務理事 **緒方 嗣雄**（強化委員長）

アテネオリンピックの出場権を獲得した競技団体が続々と名乗りをあげています。我がハンドボール界は、昨年の９月オリンピック予選に韓国に引き分けましたが、得失点差で、出場権を得ることができませんでした。今、１点の重みと悔しさを十分に感じさせられているところであります。

日本ハンドボール協会では、いち早くオリンピックプロジェクトを立ち上げ、北京を目指した強化プランを打ち出しました。北京オリンピックの出場を最大のテーマとして、下記の強化プランを計画いたしました。日本ハンドボール界の総力を結集し、北京オリンピック出場を目指す所存です。

短期強化プランとして

北京オリンピック出場 ⇒ メダルの獲得

1. 年間国際試合経験の増加　a. 国内国際大会　5〜10試合　b. 海外国際大会　5〜10試合
2. 強化プラン
   - a. 留学選手・派遣選手を海外強力クラブチームへ　4〜6名
   - b. 代表チームと選手所属チームの連携
   - c. 分析サポート・医科学サポート
   - d. スタッフの専任（監督・コーチ・トレーナー）

中長期プランとして

2012 オリンピック ⇒ 常時メダル獲得

a. NTS　一貫指導システム推進／指導者の育成システム構築　b. 強化プランのシステム化

オリンピック出場の為の具体的なプランとしては、これでも十分ではありません。まだまだやり足りないこともありますし、実行に向けて一つ一つ試行錯誤し、目標実現に向けて努力していきます。全ては現場の実行力と選手の頑張り、協会のバックアップ、ハンドボールサポーターの熱烈な声援に掛かっております。

オリンピックの常時出場とメダル獲得のため微力ながら全力投球致します。今後も、益々ハンドボールに関るすべての人々の応援を頂きます様お願い申し上げます。

特別帯同レポート

第1回東アジアクラブ選手権大会

男女とも優勝逃す



(財)日本ハンドボール協会 広報委員　早川 文司

昨年東アジア連盟発足に伴い新設された「東アジアクラブ選手権大会」。日本からはプレーオフ優勝の男子・ホンダ、女子・広島メイプルレッズが出場しました。今号では今大会に帯同した、広報委員の早川文司氏のレポートを掲載致します。

昨年、日本、韓国、中国3カ国で創設された東アジア連盟の初めての大会、東アジアクラブ大会が4月14日から3日間、韓国・城南（ソンナム）市の城南室内体育館で開かれた。

日本リーグでともに6連覇の男子・ホンダ、女子・広島メイプルレッズの日本勢をはじめ、韓国の男女各2チーム、中国男女各1チームが参加、男女それぞれ4チームが1回戦総当たりリーグで優勝を争った。

優勝はいずれも地元韓国勢で、男子が斗山（ドゥサン）、女子が三陟市庁、ホンダは準優勝、広島メイプルレッズは3位に終わった。

韓国・城南（ソンナム）市

韓国ソウルの南部に位置する城南市。相変わらず交通渋滞に悩まされるものの、ソウルの象徴というか韓国の母なる川、漢江が目の前に広がる南部の市街地にあるホテルからは車で20分から30分と近い距離にある。その中心にあったのが室内体育館。5月下旬にはアジア・テコンドー選手権が開かれた。



広島メイプルレッズ 河本千寿子選手　　写真提供：スポーツイベント社

この体育館の一角は城南市の総合スポーツセンターといった趣。すぐ隣には韓国プロサッカーKリーグの名門、城南一和のホームスタジアムがあり、その周囲にはサッカーグラウンドを兼ねた陸上競技場、屋外バスケットボールコート、アイススケートリンク、トレーニングセンターなど市民がスポーツを出来るすべての施設が整っていた。ホッケー場は急ピッチで改修作業が進んでいた。日本でもうらやましいほどの環境であった。

大会に関して

さて、今回の東アジアクラブ大会は日本と韓国、中国が西アジアの“横暴”ともいえる数々の出来事に抗してレベルアップを図り、力を鼓舞しようと創設された東アジア連盟の初めてのイベント。そういう意味合いからすれば画期的なことである。アジア連盟の中で発言権、さらに重要なポジションを占めるには「強化」につなげることが求められるのは明らかである。

だが、3カ国の参加チームを見渡すと、それぞれの国の思惑があった。韓国は当然ながらホスト国としてそれなりの結果を追求した。しかしながら中国の立場はそうしたことに対しては微妙な反応を見せた。派遣したのは北京選抜。しかもカテゴリーからすればジュニア。これでは勝敗は度外視しての参加とみられても仕方ないだろう。

アテネ五輪出場を果たし、さらには2008年北京五輪をにらんだ強化も欠かせない事情は理解できる。そうした観点からの強化の一環ともいえる今回の大会派遣ではなかったろうか。東アジア連盟専務理事を務める韓国の専務理事でもある柳在忠（ユウ・ジェチュン）は日本協会首脳に対して中国の態度を批判したのもうなずける。

「中国はベストチームを送ってこなかった。この問題は今後

話し合うことが大切だ」

トップチームでの大会開催を合意していただけに主催国としても頭の痛い問題だったのではないだろうか。

日本チームの戦い

さて、日本のホンダ、広島メイプルレッズにはそれぞれの事情から取り組みへの対応が違っていた。

ホンダは新しいシーズンからチーム環境が大きく変わることがあった。「シーズン最後の大会」と位置付けて「優勝」をテーマに臨み、気迫のある戦いを見せてくれた。結果は準優勝という残念なことになったが、若手にはアウエーでの試練も経験して有意義な遠征だったことだろう。

一方のメイプルレッズは林、呉という二枚看板の母国ということが“障害”になったことはなかっただろうか。それはアテネ五輪メンバーへの韓国協会からのアタックである。昨年12月の世界選手権（クロアチア）では７年ぶり復帰して五輪出場へ貢献した。そして今回もアテネ五輪への参加要請があった。そうした“雑音”が試合へ集中させなかったと言ったらウソになるだろう。

呉はそのあたりをこう表現した。「韓国での試合はむずかしい」。

林はそれ以上に立場は苦しかったはずだ。「ここには本当は来たくなかった」の言葉は真実だろう。こうしたことは他のメンバーも敏感に感じ取る。チーム一丸がメイプルの戦いの姿。それがなくなっては戦えない。３位という結果がそうした状況を正直に物語っているといえるだろう。

それはともかく、東アジアクラブ大会はスタートを切った。



広島メイプルレッズ 青戸あかね選手　　写真提供：スポーツイベント社

次回は中国、その次は日本での開催が決まっている。スケジュール面でも難しい面があったことは否めないが、西アジアに対抗するためには開催を続け、強化につながなければ意味がない。そして発展させていくことが創設の最大の目的である。３カ国がさらに結束を強めて「意義ある」大会へ前進を続けてもらいたいものである。

東アジアクラブ選手権大会監督コメント

ホンダ 荒木監督	この大会をシーズン最後と位置付け、日本の代表として、また第１回という意味からもタイトルを土産にしたかった。アウエーのきびしさを味わった。ただ若手にはいい経験になった。
広島メイプルレッズ 林監督	きびしい大会になるとは思っていたが、気の緩みもあったのか、全体に攻守にわたってミスが出てしまったのは残念。ただ、第２戦は日本人でコンビネーションもうまくいったのは収穫。

東アジアクラブ選手権大会成績

男　子


ホンダ　スタンスラブ・クリチェンコ選手
写真提供：スポーツイベント社

【第１日目：4/14（水）】

斗山（韓国）　32（19-11，13-12）23　北京（中国）
（１勝）　（１敗）

ホンダ　29（17-15，12-12）27　慶熙大学（韓国）
（１勝）　（１敗）

［戦評］前半25分過ぎまで追いつ追われつのゲーム展開であったが、クリチェンコの７mT、茅場・池辺の連続得点でリードし前半を終える。後半、ホンダは四方の好セーブ、池辺のポストからの得点で最大５点のリードを奪う。途中、退場者の続出で苦しい場面もあったが、最終的に２点差で勝利を収めた。
得点者：池辺７、野嶋６、小倉・クリチェンコ４、茅場・斎藤２、加藤・広政・阿部・柳本１

【第２日目：4/15（木）】

斗山（韓国）　27（16-10，11-11）21　慶熙大学（韓国）
（２勝）　（２敗）

ホンダ　28（15-11，13-12）23　北京（中国）
（２勝）　（２敗）

［戦評］前半早々、茅場・阿部・野嶋・加藤の連続シュートで一気にリードする。その後北京に粘られ、前半はホンダ４点リードで折り返す。後半立ち上がり、北京が３連取で盛り返す。しかし10分、北京の暴力行為での追放をきっかけに荒れた試合となる。残り２分、小倉の連続シュートで決着をつけた。
得点者：加藤８、小倉・野嶋５、阿部３、茅場・横地２、羽賀・広政・中谷１

【第３日目：4/16（金）】

慶熙大学（韓国）　33（16-13，17-15）28　北京（中国）
（１勝２敗）　（３敗）

斗山（韓国）　27（13-10，14-14）24　ホンダ
（３勝）　（２勝１敗）

［戦評］前半25分まで点差が開かず全くイーブンの試合展開であったが、残り５分をきったあたりから荒れた展開となり、前半終了時点で両チーム共コートプレーヤーが４人ずつという事態となった。後半立ち上がり、ホンダは３連取し13対13の同点とする。しかし後半15分過ぎから斗山は速攻、早いパスまわしから７連続得点し一気に引き離した。ホンダも終了３分前から野嶋、広政、横地の３連続得点で猛追したが及ばなかった。
得点者：斎藤６、茅場・クリチェンコ４、広政３、羽賀２、池辺・野嶋・加藤・横地・中谷１

［最終順位］

１位	斗山（韓国）	３勝（勝点６）
２位	ホンダ	２勝１敗（勝点４）
３位	慶熙大学（韓国）	１勝２敗（勝点２）
４位	北京（中国）	３敗（勝点０）

【表彰選手】＝ 日本関係▽ベストセブン　野嶋智次、吉井武晴（以上ホンダ）

女 子

【第１日目：4/14（水）】

三陟市庁（韓国） 37（17-13，20-16）29 広島メイプルレッズ
（1勝） （1敗）

［戦評］前半 15 分過ぎまでシーソーゲームを展開するも、その後三陟市庁が 4 連取しリードする。たまらずメイプルレッズはタイムアウトをとるが、試合の流れは変わらず 4 点差で折り返す。後半開始後も三陟市庁ペースで点差が広がる。メイプルレッズは後半 12 分過ぎから金を投入、林・呉・金の 3 枚で攻撃をしかけるが、最後まで本来のコンビネーションが見られず追撃とはならなかった。

得点者：大前・呉 6 、杉本 4 、青戸・金 3 、河本・坪井 2 、岩本・林・石山 1

大邱市庁（韓国） 40（20-10，20- 8）18 北京（中国）
（1勝） （1敗）

【第２日目：4/15（木）】

広島メイプルレッズ 37（20- 7，17- 7）14 北京（中国）
（1勝1敗） （2敗）

［戦評］19 歳以下の選手で構成された北京チーム相手に序盤から終始圧倒。林・呉両選手を一度も出すことなく完勝した。

得点者：金 8 、木村・河本・坪井・石山 5 、大前 3 、岩本・杉本 2 、土屋・青戸 1

大邱市庁（韓国） 25（11-12，14-13）25 三陟市庁（韓国）
（1勝1分） （1勝1分）

【第３日目：4/16（金）】

大邱市庁（韓国） 39（19-14，20-11）25 広島メイプルレッズ
（2勝1分） （1勝2敗）

［戦評］序盤から大邱市庁がリードし、前半残り 10 分に 6 点差がついたところで広島がタイムアウト。その後速攻などで 2 点差までつめよるが、正確なシュートで大邱市庁が前半 5 点差リードして折り返した。後半広島はシュートの正確さがなく、逆に大邱市庁はスピードあふれるプレーで加点していった。残り 10 分には 10 点差をつけられ、試合の趨勢は決した。

得点者：呉 7 、金 5 、林・青戸 4 、岩本 3 、石山 2

三陟市庁（韓国） 44（24- 8，20- 7）15 北京（中国）
（2勝1分） （3敗）

［最終順位］

1位	三涉市庁（韓国）	2勝1分（勝点5、得失点＋３７）
2位	大邱市庁（韓国）	2勝1分（勝点5、得失点＋３６）
3位	広島メイプルレッズ	1勝2敗（勝点2）
4位	北京（中国）	3敗（勝点0）

【表彰選手】＝ 日本関係 ▽ベストセブン 林五卿、呉成玉（以上広島メイプルレッズ）



広島メイプルレッズ 浅井友可里選手
写真提供：スポーツイベント社

トピックス

◆日本ペアが最優秀審判に


最優秀審判に輝いた藤井（左）・大熨（右）ペア。中央は山下副会長

「海外デビューで大きな土産をもらった」と大喜びだったのは国際審判（コンチネンタル）の藤井俊朗・大熨（おおのし）嘉彦ペア（岡山）。1992年からペアを組んで13年目。「あうんの呼吸と言うか、互いに信頼感があるし、メンタルな面もばっちり」と口をそろえる。初の海外でのレフェリングに多少緊張感はあったが、開幕戦でいきなりデビューするなど４試合をこなした。藤井さんが「緊張感なく普段通り出来た」と言えば、大熨さんは「不安はあったがいつものように吹くことを心掛けた」と冷静に振り返った。受賞を伝えられ、驚きの２人だったが「与えられたことを一生懸命こなすこと」と今大会の経験をもとに日本ハンドボール界発展にさらに貢献を誓った。

◆日韓戦２試合をTV中継

大会の模様はTVでご覧下さい―。国会議員選挙の真っ最中にもかかわらず韓国KBSテレビが男女各１試合を中継した。初日のホンダvs慶熙大と最終日の広島メイプルレッズvs大邱市庁戦。初日には慶熙大生も応援に動員され、中継を盛り上げた。果たして視聴率は？

◆女性スコアラー大活躍


"大車輪の活躍"をみせた韓国実業団連盟事務局長の李 慶淑さん（左）

女性パワーが大会をリードした。韓国実業団連盟事務局長を務める李慶淑（リ・キョンスク）さんで、オフィシャル席に陣取って得点ボタンを押し、スコアを記し、タイムキーパーも務めるというスーパーウーマンぶり。それも驚くなかれ一日４試合、３日間で12試合すべてをこなした。ソウル五輪、アジア大会、世界ジュニア大会などでも活躍したという「韓国の生きた辞書」（関係者）と言われる実力者。「審判よりもルールに詳しい」という言葉も真実味がある。笑顔を絶やさずやり遂げる姿からは30年のキャリアがにじみ出ていた。

試合短評

【男子＝ホンダ】

勝負にこだわった戦いを最後まで貫いた。初戦の慶熙大戦はポスト池辺が７得点、リーグで出番のなかった小倉が６得点と活躍、競り合いを制した。北京選抜ではベテラン加藤、若手野嶋がコート上を暴れまくった。闘志あふれるプレーで若い北京に圧勝して最終戦に優勝の夢をつないだ。

全勝同士の対決となった最終戦。日韓ナンバーワン同士というカードは気迫にあふれた勝負。この試合が最後となるクリチェンコも要所で実力を発揮した。斎藤、茅場、広政とベテランが執念をみせたが、19－18の１点リードから７点連取を許し、最後の追い上げもかなわず３点差で涙をのんだ。若手の経験は新たなシーズンへ貴重な体験となった。

【女子＝広島メイプルレッズ】

国内シーズンを精いっぱい戦ったあとの遠征。モチベーションに問題があったのかもしれないが、あと一歩実力が発揮出来なかった。初戦の三陟市庁は立ち上がりから動きが悪く、相手を乗せてしまった。４点を最多に２点、３点と追い上げる場面での連続失点が響いた。北京選抜はレベルに違いありすぎたが、後半の攻撃では息切れが見られた。

最終戦は林五卿、呉成玉の両エースを加えたベストメンバーで臨んだが、気迫の差が大差となった。韓国ナンバーワンの実力を誇る大邱市庁は早いパスワークとスピードで序盤から圧倒、つけ入るスキを与えなかった。特に後半はワンサイドのゲームとなり、連続失点を重ねて自滅した形となった。

【プロフィール】 早川 文司（はやかわ・ぶんじ）

1937年、広島市中区生まれ。1960年、広島市に本社を置く中国新聞社に入社。運動部記者としてサッカー、ハンドボール、バレーボール、高校野球など主にアマチュアスポーツを担当した。1996年、中国新聞社を退社、フリーライターとなる。

ハンドボールとのかかわりは1976年に湧永製薬（当時は湧永薬品）が広島に本拠を移したのがきっかけ。翌77年の単独チームとしては日本で初めてのヨーロッパ遠征に同行した。また、1994年、イズミ（現広島メイプルレッズ）も創部当時から取材し、現在は広島メイプルレッズの会報「STEP UP！」制作にも携わっている。

1994年から日本ハンドボール協会企画・広報委員をつとめ、97年、熊本での男子世界選手権では１カ月間にわたり裏方として大会運営に携わった。コラム「フリースロー」に1994年・4月号（No.341）から執筆を続けているほか、日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）がスタートした1994年からは広島県サッカー協会機関紙「広島サッカーニュース」のコラム「蹴」にも執筆を続け、ほかにサッカーマガジンなどスポーツ雑誌にも寄稿している。

著書に「サンフレッチェ広島・奇跡のイレブン」など。日本ハンドボール協会60周年で感謝状を受け、日本サッカー協会からは75周年功労者表彰を受賞。

海外青年協力隊
モンゴル報告

モンゴルの地に芽生えるハンドボールの芽

モンゴル青年海外協力隊　石川正樹

2004年5月4日〜7日までモンゴルを会場に東アジア上級セミナー（IHF）が開催されました。日本からは、山下、市原両副会長が出席致しました。その際、現地で海外青年協力隊としてハンドボールを指導する石川正樹さんと出会いました。今号ではモンゴルの現状をふまえ、石川さんに現地レポートをお願い致しました。

モンゴルでハンドボールを教える

私は2003年4月から2年間の予定でモンゴルへ来て、すでに1年以上が過ぎました。私は初代のモンゴル・ハンドボール隊員だったということもあり、事前情報をほとんど知らずにモンゴルへの赴任となりました。ただ、日本とは全く違う環境だという事は覚悟していましたが、それでも最初は驚きとイライラの連続でした。

私は首都ウランバートル市内で、複数の学校を巡回しながらの指導を中心に活動していますが、モンゴル人にはボール、ジャンプ、キャッチやゴールなどといった言葉すら通じず、やはり赴任当初は言葉の壁に突き当たりました。また、体育館の使える時間はたった1時間半〜2時間しかないのに、モンゴル人は時間にルーズなので開始時間までに集まらず、実際には1時間〜1時間半しか練習ができなくて、イライラする日々が続きました。

モンゴルの練習環境

モンゴルでは1年の半分がマイナス温度の世界で、真冬には−40度まで気温が下がることから、外で体育の授業を行うことがなく、ほとんどの学校にグランドがありません。ですから、必然的にハンドボールの練習は体育館でとなるのです。しかし、学校の体育館はどこも狭く、バスケットコートがギリギリ1面取れる程度の広さなので、ハンドボールコートの半面すら取れません。私が指導を行ってる学校で1番狭い体育館は18m×9mしかありません。さらには、ゴールもほとんどの学校になく、ゴールのある学校も鉄パイプを溶接でつなげた手造りのゴールです。場所が狭くゴールもない所での練習が多いので、日本ではやったことのない練習方法がいくつか生まれました。

モンゴル国内で、唯一まともにハンドボールコートが取れる体育館（36m×20m）も、フロアーの凹凸や釘の出ている場所が所々あり危険も一杯です。実践的な練習ができるのはここだけなので使いたいのですが、お金の問題等がありなかなか頻繁には利用することができません。モンゴルの学校では大会前に少し練習をするだけで、日本のような部活動といった習慣がありません。学校体育の授業にも多々問題があるので、日本では当たり前の体操・ランニング・基礎練習などを軽視し、何でそんなことしなくちゃいけないのという顔をする生徒もいて、練習を定着付けることの難しさを感じています。ですから、基礎を身につけてレベルを上げていくのにはすごく時間がかかりそうです。



左より　市原副会長、石川さん、モンゴル協会ジャルガルサイハン会長、山下副会長

発展途上国の抱える問題とスポーツ

モンゴルだけではなく他の国でもそうなのですが、協力隊を呼ぶことによりJICAから無償の援助を受けられると思い込み、隊員を要請してくる機関があります。援助慣れをしてるというか、自助努力をしようとしないことに悲しさを覚えます。モンゴルハンドボール協会もこれまでに、複数の国や機関から多くのボールを寄付してもらっていますが、ボールの不足はハンドボール普及の大きな妨げになっています。私はこのことに大きな憤りを感じています。詳しいことは知りませんが、今回の東アジアハンドボール会議でも、モンゴルへなんらかの寄付が決定したと聞いています。モンゴルではハンドボール用品が一切手に入らないので、援助に頼りたい気持ちも分かりますが、自助努力にもっと力を注いでもらいたいと思います。寄付してもらった貴重な道具が実際に現場でプレーしてる選手達のために使われ、モンゴルのハンドボール普及に役立てられることを私は願うばかりです。

これからの課題

今のモンゴルには、ハンドボール協会の人間や各学校の先生たちを含めて、ハンドボール経験者は1人もおらず、ルールを知ってる人もいません。そんな状況で、どうしてハンドボール協会が設立されたのか不思議に思いますが、選手のレベルアップや審判の育成等、自分に課せられた役目の大きさを感じながら活動をしています。

最近では、まじめに練習へ来る生徒も増えてきましたが、まだまだ「ハンドボールっぽいスポーツ」をやってるといった感じなので、これから更にハンドボールの技術やおもしろさを伝えていきたいです。また、日本で何の実績もない私が、ここモンゴルでハンドボールの普及・基盤づくりに関われることをうれしく思いますし、日本とモンゴルの小さな架け橋になれればいいなと思います。

ハンドボールの経歴

石川正樹（1973年7月12日生まれ　30歳）
住吉中学校（山口）→徳山商業（山口）→日本発条（神奈川）→リリオ神奈川（教員中心のクラブチーム）→モンゴル青年海外協力隊

平成15年度

第27回
全国高等学校
ハンドボール
選抜大会

第27回全国高等学校ハンドボール選抜大会（主催：㈶日本ハンドボール協会、共催：㈶全国高等学校体育連盟、後援：文部科学省、神奈川県教育委員会、神奈川県体育協会、横浜市教育委員会、横浜市体育協会、藤沢市教育委員会、藤沢市体育協会、茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市体育協会、読売新聞社、神奈川新聞社、主管：神奈川県ハンドボール協会、藤沢市ハンドボール協会、横浜ハンドボール協会、㈶全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部、神奈川県高等学校体育連盟ハンドボール専門部）が平成16年3月26日（金）～31日（水）の6日間に渡って神奈川県立体育センター、藤沢市秋葉台文化体育館、藤沢市秩父宮記念体育館、茅ヶ崎市総合体育館、戸塚スポーツセンターを会場に開催された。男子は沖縄興南高校、女子は石川県小松市立高校が昨年に引き続いての優勝を飾った。

主催：全国高体連の声

ハイレベルなゲーム、好感の持てる大会

㈶全国高体連ハンドボール専門部部長　宇佐美 幸彦



はじめに

第27回全国高等学校ハンドボール選抜大会が、実に27年目にして関東地区で開催されました。そのトップ開催とし、神奈川県の地で今大会が開催されました。神奈川県ハンドボール関係者が口を揃えて言われますように、地元高体連専門部の先生方と高校生の手による「手作り大会」は大変素晴らしい大会となりました。まさに、今年度の高校ハンドボール界の隆盛を予感させるきざはしの大会でもあり、数々のドラマを繰り広げるなど、成功裏のうちに幕を閉じることができました。今大会を総括し、報告するにあたり神奈川県ハンドボール協会関係者と高体連専門部の先生方に深く感謝申し上げます。

走って、走って、走りまくる

さて、私はすべての大会挨拶の中でハンドボール競技は「走って、走って、走りまくって下さい」と言います。止まったプレーで、スピード感のないハンドボールには好感が持てません。いつでも、どの大会でもこのようにお願いしております。今大会は、この期待に応えて下さったのか、速攻に速攻を重ね、スピード感溢れる大変素晴らしいプレーを目の当たりにすることが出来ました。春の段階での日本一を決める大会であり、少々の荒削りは仕方有りません。積極的プレーの



写真提供：スポーツイベント社

中で生まれるパスミス、キャッチミス、シュートミス等がゲームの流れを変えてしまう場面も見受けられました。夏のインターハイまでには、幼稚なミスをなくして内容の濃い、白熱したゲーム展開を期待しております。

男子のゲーム

男子決勝戦は、昨年夏のインターハイを制した沖縄興南高校と、最近進境著しい香川中央高校との対戦となりました。一回戦から危なげなく勝ち上がってきた興南高校と準決勝をやっとの思いで延長戦に持ち込み、小林工業高校に逆転勝ちし勢いに乗る香川中央高校の対戦は、決勝戦にふさわしい一進一退の好ゲームとなりました。香川中央高校の変則ディフェンスに、興南高校は一時攻めあぐむ場面も見られましたが、高校生離れした高さとパワー、テクニックを加味した個々の能力を十分に発揮した興南高校が昨年夏のインターハイに続き栄光を勝ち取りました。スピーディーでダイナミックなゲーム内容と併せ、両チームの健闘には胸を熱くさせられるものがありました。

ベスト８に勝ち進んだ瓊浦高校、愛知高校、浦和学院高校、不来方高校、小林工業高校、法政大学第二高等学校、1・2回戦で敗退はしたけれど氷見高校、千原台高校等にも優秀な選手が多く将来が期待できます。

女子のゲーム

一方、女子は昨年夏のインターハイを初制覇した兵庫の夙川学院高校が一回戦で敗退する波乱含みのスタートとなりました。決勝戦は、昨年夏のインターハイの決勝戦で不覚をとった夙川学院高校を脳裏に焼き付けた小松市立高校と一回戦からよく走り、危なげなく勝ち進んだ沖縄県立浦添高等学校の戦いとなりました。お互いのチームがよく走り、前半は３点差、後半も一歩も譲らぬ点の取り合いとなり点差は縮まらずに小松市立高校がそのまま逃げ切りました。インターハイと同じ轍は踏まないという執念すら感じられる小松市立高校の優勝でありました。

一方ベスト４チームの桜花学園高校や昭和学院高校の活躍も記憶に残るチームでした。大会６日間を通して、連日


写真提供：スポーツイベント社

ハイレベルなゲームが展開され、好感の持てる大会となり感謝致します。

ジュニアスポーツ交流競技会に向けて

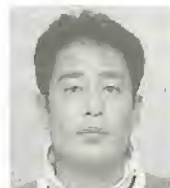
今年度より、日中韓のジュニアスポーツ交流競技会は選抜大会出場校から選抜した全国選抜選手団で臨むこととなりました。選手は、強化部の先生方により選抜され、最強のメンバーで今年の開催地・中国に渡りたいと思っております。全国高体連ハンドボール部は将来の日本ハンドボール界を背負っていける選手の発掘と育成に努力していく所存です。

最後に、今大会開催にあたり準備・運営にご協力いただきました神奈川県ハンドボール協会、神奈川県高体連ハンドボール専門部の皆様に重ねて感謝申し上げまして報告とさせていただきます。

開催地：神奈川県協会の声

「手作りのおもてなし」を心掛けて

神奈川県実行委員会事務局　鈴木 和宏



大会の準備と運営について

過去３年間行われてきた富山県氷見市における選抜大会は、準備・運営において県ハンドボール協会と行政とがタイアップした形での開催であったと思います。そのため大勢の関係者が訪れる選手・役員に接していたと思われます。神奈川県としては、昨今の経済状況を考え、できるだけコストをかけずに「手作りのおもてなし」をしていくことを考え、高体連と県協会が中心になって準備を進めいていくことを念頭におきました。準備委員会は昨年９月より開催され、限られた日程のなかで各係が準備状況を確認しあい、最終的に県内役員60名が実行委員会を開催するという段取りを踏んで本番に臨みました。しかし98年に実施した神奈川ゆめ国体を経験している余裕からか、なかなか人が集まらず本番間際まで準備が続いてしまったことは今後の課題となりました。

尚、２月14日には全国高体連常任委員会に出席をさせていただき、打ち合わせと顔合わせを含め、宇佐美部長はじめ多くの先生方に貴重なご意見、ご提言を頂いたことが、大会運営の準備を進めるために大きく役立ちました。

大会の運営については、スタッフ60名と県内高校ハンドボール部員が６会場に分散する形で行われました。特に、補助役員にあたった生徒諸君は県外から来るお客様に対して気持ちよく接するという共通理解が得られ、本当によく役割を果たしてくれたと思います。このことについては３位表彰式において宇佐美部長からお褒めの言葉を頂くことができ我々としても手作りのおもてなしが果たされたと感じることができました。また、試合結果の処理については係の先生にご苦労を頂きましたが、携帯端末を利用して各会場とメールの送受信を行うことでいち早く情報の提供ができたのではないかと思っています。

大会運営からわかったことと今後の課題

◆駐車場の対応について

予想をしていたことでしたが当日はやはり混乱を招きました。全国高体連常任委員会でも申し上げたことですが、今回使用した５会場は公共交通機関から近い場所に隣接していました。また、会場に駐車場も設けられていないということもあり、車での来場をお断りしました。しかし、実際、大型バスでの会場へのアクセスはかなり多く、体育館側のご厚意によって対応できたという結果になりました。この問題については神奈川県のみならず開催が予定される東京都の場合、もっと深刻な状況が予想されます。大都市の抱える事情とその中で開催していく全国規模の大会、運営する側も参加される方々も考えを新たにしていく必要があると感じました。



写真提供：スポーツイベント社

◆開会式の簡素化

今回は神奈川方式ということで従来のように開会式での入場行進を行わず、ホール形式で代表者会議に引き続き式を進行しました。これについては選手諸君に少しでもその後のゲームに集中してもらう時間を確保するという発想から行ったものです。事務局にも「なぜ行進を行わないのか？」という厳しいご質問が数件ありました。このことについての賛否は各方面で議論を頂きたいと考えております。

◆その他として

手作りのおもてなしということが果たしてきたのかはすべての検証がなされていないので定かではありませんが、実際に全国からいらっしゃった選手や役員など大会関係者の方々をお迎えして初めて、先催県での視察等の重要さや、足らない点の多いことを痛切に感じた思いです。携帯端末による情報の集中管理やオフィシャルのデジタル管理などハンドボール競技のなかにもどんどんデジタル化が進み、その必要性を感じる大会でもありました。しかし、そのデジタル化の中でいかに暖かみが感じられる大会にするか、これは神奈川県が次に運営する大会で考えなければならないことであると思います。

最後になりましたが、この大会を運営するにあたりご協力を頂きました全国高体連の各先生方に感謝を申し上げ、寄稿を終了させていただきます。



写真提供：スポーツイベント社

男子優勝監督の声



第 27 回全国高校選抜大会を振り返って

興南高校ハンドボール部監督　黒島 宣昭

今大会を振り返ってみて、例年になくハイレベルでの混戦が多数あった大会だったと思うし、他チームにも優勝のチャンスがあったと思います。その中で、昨年に続き「二連覇」達成に正直に言いまして大変に驚いています。今年のチームは、1 年生（新 2 年）主体のチームであり、その点で、試合内容に安定感がなく、調子の波が激しいチームであったからです。まさか優勝するとは思ってもいませんでした。

一回戦から厳しい試合展開でありました。その中で、子供達は、一戦一戦試合していくなかで力をつけてきたように思えます。特に、三回戦の伊奈戦がポイントだったと思います。キーパー内田の好キーピングが幾度となくチームのピンチを救ってくれて、攻撃陣にいい刺激を与えてくれたと思います。私から見て彼が、今大会のチームでの MVP だと思います。

さて、追われる立場になりましたが、夏のインターハイまでは、とても厳しい戦いになると思います。特に、県予選から気の抜けない試合になると予測しますが、新戦力として、素晴らしい選手が入学してきましたので、今大会の課題を克服して、チャレンジャーの精神で、インターハイ出場を勝ち取りたいと思っています。

最後になりますが、ここに至るまでに多くの方々のご指導ご鞭撻をいただきました。学校関係者及び父母会の並々ならぬバックアップや、OB の皆さんの支援についても大変に感謝しています。又、素晴らしい選手達にめぐり逢える機会をつくってくださいました小学校、中学校の指導者のお陰であり感謝の気持ちでいっぱいです。この「感謝の気持ち」を忘れずにこれからも日々努力していきたいと思っています。ありがとうございました。



写真提供：スポーツイベント社

女子優勝監督の声



選抜二連覇は夢のよう

小松市立高校ハンドボール部監督　古橋 幹夫

前回の選抜大会優勝は悲願達成の大きな喜びがありましたが、今回の優勝は私にとって信じられない出来事として夢を見ているような感じがしました。昨年の国体終了時点ではこのチームの目標は全国ベスト 8 が妥当な線だと思っていました。ところが 1 月の東京女子体育大学への遠征から生徒達は本気で全国優勝を口にするようになり、練習の意気込みが変わってきました。その後も北国銀行チームや小松クラブの先輩方の胸を借り、優勝も夢ではないところまで力をつけて貰いました。しかし、大会では初戦から難敵が待っていました。地元の声援を受け、ひとつのプレーに体を張ってくる横浜創英とのゲームはこちらも体を張れなければ確実にやられる危機感がありました。結果的にはこのゲームで横浜創英を守りきれたことが今大会のディフェンスの自信になり、優勝できた大きな要因であったと思います。その後も気の抜けないチームとのゲームが続き、身体的にも精神的に　も疲労が蓄積されていきました。準決勝の桜花学園は練習試合 1 勝 1 敗の強敵。決勝は変幻自在の浦添。どこで負けてもおかしくない試合で勝ち進めたのはやはりディフェンスで体を張れた生徒達の意識の高さであったと信じています。

選抜大会は今シーズンの腕試し。ここまでは中学校までの指導者の方々の熱心な指導の結果であり、チームとしての基盤ができあがった状態であると認識しています。そしてここからが監督・選手の真価が問われる勝負所。「今年こそはインターハイを」を合い言葉に練習を積み重ね、春夏連覇・三冠と夢を追いかけていきたいと思っています。

最後になりましたが日本協会、高体連、神奈川県の役員の方々、審判員の方々には大変お世話になりました。選手共々感謝しております。今後もご指導・ご鞭撻を頂けますようお願いいたします。



写真提供：スポーツイベント社

プレーオフ MVP・歴代通算得点達成者の声

2004 年 3 月 20 日（土）、21 日（日）駒沢体育館に於いて行われたプレーオフで第 28 日本ハンドボールリーグは、男子ホンダ、女子広島メイプルレッズの共に 6 年連続優勝で幕を閉じた。また、今期は岩本真典選手（大崎電気:823 点）、田中美音子選手（ソニー：754 点）が歴代通算得点ランキングを更新した。今回は男女 MVP を含む 4 選手の喜びの声をお伝えします。

男子最高殊勲選手賞

四方　篤（ホンダ）

日頃より Honda ハンドボール部に対し暖かいご声援を賜りまして、誠に有難うございます。連続勝利記録と 6 連覇という目標記録をめざし、日本リーグが始まりました。スタートから好調をキープしたが、12 月には選手の疲労も多く試合のリズムが取れなくなってきた時の大同特殊鋼戦で敗退し連勝記録がストップしてしまいました。選手は今まで維持してきた体力面やメンタル面の緊張がいっきに切れ、そのまま試合に望んだ全日本総合は、当然湧永製薬に大差で負けてしまうという結果になりました。年が明けてのアラコ九州戦・大崎電気戦ともに連敗してしまう結果に、チーム全体が暗いムードに包まれました。プレーオフまでに個人でもう一度レベルアップをする為、筋力アップと持久力アップに時間を裂き、基礎基本をして望んだ湧永製薬戦では Honda に少し光が見えてきました。プレーオフ前の 2 週間は試合に向け、やれる事は全てした、後はチームとして徹底するか！それだけ。試合の前半は我慢の時間帯が多かったけれど、選手みんなで自信を持ってやってきた事を徹底して出来ていた事が後半に全て出たように思います。

最後に関係者各位、応援して下さった皆様にこの紙面をお借りしまして感謝申し上げます。本当に有難うございました。



インタビューを受ける四方篤選手

女子最高殊勲選手賞

大前　典子（広島メイプルレッズ）

第 28 回リーグは、広島メイプルレッズにとって、『六連覇達成』という大きな目標をチーム目標に掲げスタートし、その目標を達成出来た事を嬉しく思うと共に、チームを支え・応援して頂いた方々に、感謝の気持ちで一杯です。チームのカラーである、『守って速攻』の形で頂点に立てた事、日々の練習の賜物だと思います。より一層磨きをかけ、確実なものにして行きたいと思います。今リーグ中も色々と苦しかったですが、特にプレーオフ 2 週間前は、本当に地獄でした。しかし、何と言おうとあと一試合!! あと一試合の為に、どんなに辛く、苦しくともチーム全員で声を掛け合い、乗り切れた事がこの優勝に繋がったと思います。

私事ですが、プレーオフという大舞台に立つ事は、夢でもあり、憧れでもありました。その夢（憧れ）の場でプレーし、更には最高殊勲選手賞という素照らしい賞を頂けた事、心から光栄に思い、嬉しい気持ちでいっぱいです。試合を終えた今でも、受賞した事を信じられないですが、自分を支えて下さった方々のおかげだと、心から感謝しております。

これからも優勝記録を伸ばせる様、チーム一丸となり日々努力・精進すると共に、チャレンジャー精神で更に上を目指し頑張りますので、末永く、ご支援・ご指導の程、宜しくお願い致します。


JOC 竹田会長より賞を受ける大前典子選手

日本ハンドボールリーグ歴代通算得点ランキング更新：男子１部

岩本　真典（大崎電気）


岩本真典選手

日本リーグ通算最多得点記録更新にあたり、まずは関係各位の皆様に感謝したいと思います。様々な環境、人々に支えられここまでやってこられたと思います。得点とは個人の記録ではありますが、ゴールを守る人、パスをする人、アシストをする人、いろいろな人の協力があっての事だと考えます。得点に関しては多くの思い出がありますが、やはり得点の積み重ねが勝利につながるということで、勝利した試合はすべて良い思い出となっています。

記録は破られるものです。私個人もこれから自分の記録更新に挑戦していきますが、これから日本リーグで活躍される選手の皆さんに、目標とは言いませんが挑戦して欲しいと思います。個人の目標を持つ事がチームの為に必ずプラスになると思います。

個人あってのチーム、チームあっての個人であります。これからもチームの為、個人の為に頑張っていきたいと思います。

ハンドボールはマイナースポーツと言われますが、魅力はたくさんあると思います。これからもハンドボールを多方面にアピールしていきたいと思います。

日本ハンドボールリーグ歴代通算得点ランキング更新：女子１部

田中　美音子（ソニーセミコンダクタ九州）


田中美音子選手

感想は…。

正直、自分自身記録を作れるような選手ではないと思っていたし、今日までハンドボールを続けていることにもビックリです。ただ思うことは、ハンドボールが好きだから…、そして長く続けられる環境があったからだと思います。それにこの記録は、自分だけで築き上げたものではありません。１人では成せない記録です。この７年間、同じコートで共に戦ったチームメイトのお陰だと思います。そして記録はいつか更新されるもので、その過程に今の私が居ただけです。私は記録より記憶に残る選手であり続けたい。（今までがどうかわかりませんが…）

これからも記録にこだわらず、チームの勝利に貢献できる選手でいたいです。そして自分自身、もっとハンドボールを楽しめるように…。

最後に今まで育てていただいた恩師の皆様、自分の周りの環境、一緒にハンドボールをした仲間や両親・妹に感謝しています。

やっぱり「出なきゃ…」

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー Free Throw

108年ぶりに発祥の地・アテネに帰るスポーツと平和の祭典、第28回オリンピック開幕が1ヵ月半後に迫った。出場選手も大半が決まったが、女子の選手数が五輪史上初めて男子を上回ったことも日本スポーツ界の新しい姿を現していると言えるだろう。

今回の出場選手に関しての最大の注目はテコンドー騒動とホッケー女子だろう。特にホッケーに関しては初出場を決めたこともあって連日のようにマスメディアに登場するほどの注目度である。

ホッケー協会の強化費はサッカーの180分の1とも言われる。予選を控えた代表合宿もホテルなどではなかった。大学の寮。それでも選手たちは強国相手に力を振り絞った。きびしい環境が強い精神を育てたのかも知れない。そこでつかんだ感動のアテネ。彼女たちに大きなパワーを植え付けたことは間違いない。

その後の国際大会を控え、協会は募金活動を始めた。さらに彼女たちを奮起させたのが、スポンサーがついたことである。

日本のマスメディアはアマスポーツに関してはオリンピックという国際大会が最大の関心事である。極論すれば、オリンピックに出場しなければスポーツにあらずであるといってもいいくらい。だからホッケーも過去は悲惨なものだった。観客もいなければ、報道陣もゼロ状態。ところがオリンピック出場後の国際大会ではテレビカメラが5台もプレーを追いかけた。まさに「月とスッポン」である。

サッカーの女子も2大会ぶりの出場権を得たが、こちらも状況は似たり寄ったり。記者会見でも2、3人が当たり前。しかし、出場権をつかむと30人～40人が詰めかけた。

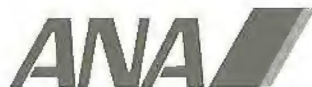
このように日本のアマスポーツに関してはオリンピック出場が最大の目玉なのだ。こうした状況を見るにつけ、だからこそ昨年の神戸での敗退がよけい寂しくなってくる。ライバル韓国に男女ともドローだったのだからよかったという声があるが、それに満足しては将来がない。勝てるチャンスを逃がしたことを残念がることが大切である。本大会に出場してこそ「ドロー」が生きてくるのではなかろうか。

そうした甘い考えを捨てなくては、ハンドボールは低迷を続けるだろう。最近はハンドボールの「ハ」もメディアに登場しない。オリンピックイヤーは無関係。やっぱり「出なきゃ…」。寂しすぎる2004だ。

いい空を。いい時間を。

もっとくつろげる空へ。もっと楽しめる空へ。
あなたの空を笑顔で満たしたいから。
日本で、そして世界中で。あなたに、いい空を、いい時間をお届けしたい。
私たちひとりひとり、心を込めて、お迎えいたします。

ANA



国内線のお問い合わせは、0120-029-222　国際線のお問い合わせは、0120-029-333　または、お近くの全日空代理店まで。
全日空ホームページ www.ana.co.jp

NTS2004報告

NTSコーディネーター　栗山　雅倫

2000年からスタートしたNTS、本年度もいよいよブロックトレーニングの日程、開催地が決定いたしました。基本的に全国統一の課題を普及いたしておりますが、各ブロックの運営スタッフが、独自の工夫をしていることと思います。皆様方の所属されるブロックはもちろん、その他のブロックも是非のぞいて見て下さい。
選手の引率の先生方以外でも、見学は自由です。少しでも多くの方々にお運び頂き、各会場の盛況を祈念いたしております。
以下、各ブロックの日程、開催地をお知らせいたします。

NTS2004 ブロックトレーニングスケジュール

	開催日時	開催場所
北海道	9/4･5	函館大学体育館
東　北	8/7･8	花巻市総合体育館
東　北	7/31小中生	花巻市総合体育館
関　東	8/30･31	中央大学　第一体育館
東　海	8/28･29	暁高校体育館
東　海	7/19小学生	ホンダ・アクティブランド

	開催日時	開催場所
北信越	8/10･11	柏崎市総合体育館
近　畿	8/23	橋本体育館
中　国	7/30･8/3･24	湧永満之記念体育館
四　国	8/28・29	高知女子大体育館
九　州	8/25・26	山鹿市総合体育館 オムロン鹿陽センター

NTS2004　基本方針

1、NTSのピーアールと組織の確立一円滑な運営
2、緊縮予算の有効活用と自助努力
3、強化指導電子教本・DVD製作
4、強化指導スタッフのレベルアップ

具体的な施策

1，NTSのアピールと組織の確立・円滑な運営

NTSをシステムとして各連盟とのコンタクト・PR継続・機関誌・スポーツイベントを活用してのPR
ブロック技術委員から都道府県の理事会へプレゼンテーション

2，緊縮予算の有効活用と自助努力

技術委員会・NTS・日本リーグ等とのタイアップ・日本協会事業との連携
自主参加・自助努力のよる自己財源での運営方策検討

3，強化指導内容の策定

技術委員会テクニカルグループによるブロックトレーニング実施内容策定
個人の基本技術戦術の向上（目指せファンタジスタ）
グループ戦術トレーニングのバリエーション策定実施

4，強化指導スタッフのレベルアップ

競技者育成技術委員会との連携・指導スタッフ間の指導理論統一（シミュレーション実施）
指導スタッフの増強・育成

集中連載⑥

スペイン研修報告

日本ハンドボールリーグ機構GM
田中　茂

勝つ集団を作る陰のプロフェッショナル

私はスペインでの２年間の研修で沢山の試合、練習、指導者講習会に参加する機会を頂きました。また沢山の指導者に出会う事ができ、私自身、指導者としての有意義な経験をしてきたと思います。

FC BARCELONAのBチームでスペインの選手を指導できる貴重な経験をし、実際に彼らと共に汗を流し、会話していく事でハンドボールに対しての考え方等を肌で感じる事ができました。私なりに日本のハンドボールとの対比ができたことにより、今後の日本での指導、トップアスリートに対しての精神的な面、技術的な面、戦術的な面でいろいろな選択肢ができ指導者としての幅ができたのではないかと思います。

1）長いシーズンを戦い抜くために

今回は、チームの組織としての強さ、個々のスペシャリストの役割について書いていきたいと思います。

スペインではリーグ戦、その他の国内の公式戦、各ヨーロッパのカップ戦とトップチームは年間最大で50試合前後の公式戦を戦っていかなければなりません。

そこで私が感じた事の１つに、強いチームをつくる上で、チームとして個々の技術や戦術、選手補強もさる事ながら一番は長い戦い（試合期間）の中で選手がケガをしないこと、体力を維持することであることに気がつきます。長いシーズンを戦う上でケガや体力の衰え（疲労）はつきものですが、いかにしてケガや疲労を早く回復させるかが戦術、技術以上に大きな課題になってきます。

2）コーチ、ドクター、トレーナーの仕事

その課題を解決する為にもチームには専属のドクターやトレーナーが練習、試合全てに帯同し、ケガに対しての予防、診察、アフターケアと一貫して行っています。また疲労回復のためのトレーニングやマッサージをしっかりと時間をかけて各専門のトレーナーが行っています。

当然の事ですが、選手はチーム練習以外に長いシーズンを戦うためにトレーナーの指示のもと、シーズンイン前の時期は多くを体力の向上、シーズン中もランニング、ウェートトレーニングが実際のハンドボールのトレーニングよりも重要視されていて、かなりの時間行われています。

選手もプロとしてベストパフォーマンスがシーズンの最後までどの様にしたらできるのかを各選手が知っている。ドクターやトレーナーの仕事の重要性がはっきりしていて長いシーズンを戦うために各人が最高の仕事を行うことにより優勝も可能なチームがつくられています。

私はここに勝つための組織としての大きさを感じました。全てが分業制で各ポジションのプロフェッショナルが責任を持って仕事している点です。

3）日本スポーツ界の課題

日本で、ここまでの環境を整えたチームは少ないのではないかと思います。

日本が世界と闘っていく為には環境改善は早急に取り組まなくてはならない課題ではありますが、ヨーロッパとのスポーツの歴史が違うし難しい課題であるとも思います。

また、まだまだ日本ではトレーナーなどの重要性が認識されていないのではないかと思いますし、ケガなどをしても選手任せのリハビリを行っているチームが多いのではないでしょうか。指導者は選手に対し最高の環境を与える事（専門知識をもったトレーナー等の重要性）も大変重要な仕事だと思っています。チーム（組織）の充実が競技の充実に大きな影響があると思いますし、選手に対しても重要で、各チームが考えていかなければならない課題だと思います。

日本ハンドボールリーグオールスター戦・全日本女子アジア選手権壮行試合

熊本県山鹿市大会

昨年に続き、本年度もオールスターを開催いたします。
男子はJHLの東西対抗戦、女子は7月23日から広島で開催されるアジア選手権（2005年世界選手権予選）の壮行試合で、全日本女子対JHL選抜となっております。試合後はサイン会など交流イベントもありますので、是非ご来場ください。

◎開催日程

平成16年7月11日（日）

12：00　女子：全日本女子VS日本ハンドボールリーグ選抜
14：00　男子：ALL EAST　VS　ALL WEST（JHL出身地別東西対抗戦）

◎開催場所

熊本県山鹿市総合体育館　熊本県山鹿市熊入町416　TEL：0968－43－0090

◎入場料金

一　般	2,000円
中学生・高校生・大学生	1,000円

※がんばれハンドボール10万人会の公式パスカード・ペアチケットをご使用いただけます。

◎チーム紹介（男子メンバー　7/11）

ALL EAST					ALL WEST				
北海道 東北 関東 北信越 東海 関西 地区	監督	荒木　誠司	ホンダ		中国 四国 九州 地区	監督	中山　剛	湧永製薬	
	コーチ	冨本　栄次	大同特殊鋼			コーチ	宮城　徳隆	ホンダ熊本	
	背番号	名前	所属チーム	出身地		背番号	名前	所属チーム	出身地
	1	吉井　丈晴	ホンダ	東京都		1	坪根　敏宏	湧永製薬	福岡県
	12	高木　尚	大同特殊鋼	福井県		12	谷川　一寿	アラコ九州	佐賀県
	2	前田　誠一	大崎電気	北海道		2	広政　宜孝	ホンダ	山口県
	3	阿部　展行	ホンダ	神奈川県		3	東　慶一	湧永製薬	山口県
	4	福田　大樹	湧永製薬	神奈川県		4	市原　剛次	大同特殊鋼	広島県
	5	豊田　賢治	大崎電気	埼玉県		5	山本　琢央	大同特殊鋼	広島県
	6	太田　芳文	大崎電気	茨城県		6	畠中　益喜	大同特殊鋼	福岡県
	7	北出　圭祐	トヨタ車体	愛知県		7	岩本　真典	大崎電気	熊本県
	8	長谷川　聖	トヨタ車体	三重県		8	中川　善雄	大崎電気	熊本県
	9	谷口　了	ホンダ	和歌山県		9	宮崎　大輔	大崎電気	大分県
	10	下川　真良	湧永製薬	京都府		10	池辺　健二	ホンダ熊本	福岡県
	11	古家　雅之	湧永製薬	大阪府		11	大宮　大	ホンダ熊本	熊本県
	13	山口　修	湧永製薬	兵庫県		13	松本　博文	ホンダ熊本	熊本県
	14	永島　英明	大崎電気	大阪府		14	田中　慎一	アラコ九州	福岡県

◎女子チームについては選考中のため、6月15日現在確定しておりません。
決定次第、JHLホームページ（http://www.jhl.handball.jp/）にて掲載いたします。

指導委員会：コーチング研究部会便り

第2回ハンドボールコーチング研究会

平成16年3月21日、渋谷：ホテルサーブ会議室において、第2回ハンドボールコーチング研究会が開催されました。本研究会はハンドボール競技の実践的な指導方法を集大成することに寄与しようとするもので、昨年3月指導委員会のシンポジウムの際の開催に次いで2回目の開催。大学、高校の学校現場の教員だけでなく、多くのコーチを巻き込み、ハンドボールの指導・分析視点や事例を発表し、指導者として切磋琢磨する場となればと考えています。また、本研究会は学術的な研究を主な狙いとしたのもではなく、指導者の経験・知見を持ち寄り、伝え合う場となればと思っております。



開会の挨拶	研究会事務局　角　紘昭	
協会代表挨拶	担当常務理事　平岡秀雄	
発表と質疑1	ハンドボール競技におけるアジアー流選手のシュート動作分析	山下純平（筑波大学）
発表と質疑2	ハンドボール競技における Game Stamina に関する研究	明石光史　田中守（福岡大学）
発表と質疑3	ハンドボール選手の移動特性に関する研究	舎利弗学　平岡秀雄（東海大学）
発表と質疑4	ハンドボールにおける情報分析のシステム構築と実施	栗山雅倫（早稲田大学大学院）
発表と質疑5	地域におけるハンドボールの普及と強化に関する事例研究	中島昭博（花巻北高校）
発表と質疑6	ハンドボール分析班分析データの蓄積と保管、提供の考え方	白井克佳（JISS）
全体討論		
閉会の言葉		

【コーチングシンポジウム出席者】
明石光史（福岡大学）
蒲生晴明（中部大学）
笹倉清則（日本女子体育大学）
田村修治（東海大学）
中島昭博（花巻北高校）
山下純平（筑波大学）
浅利康仁（青森　木村石材）
桑原康平（筑波大学）
田中　守（福岡大学）
島崎百恵（東海大学）
斉藤慎太郎（日本体育大学）
安藤裕一（東京　サロン2002）
栗山雅倫（早稲田大学）
角　紘昭（日本ハンドボール協会）
平岡秀雄（東海大学）
水上　一（筑波大学）
南木雅弘（百合丘高校）
池田　修（福岡教育大学）
白井克佳（国立スポーツ科学センター）
舎利弗学（東海大学）
仲田好邦（筑波大学）
岡本　大（国士舘大学）
柏葉公平（花巻市・林風舎）



「第2回ビーチスポーツ In ODAIBA」にビーチハンドボール参加



2004年4月24日(土)～4月25日(日)、おだいばビーチ（お台場海浜公園）において開催された「第2回ビーチスポーツ in ODAIBA」にビーチハンドボールが参加しました。大会は「ビーチスポーツ推進協議会」による主催で、他競技としてはビーチバレー、ビーチサッカー、ビーチドッジボール、ライフセービング、シーカヤック、アウトリガーカヌーなどがおこなわれました。

大会は、ビーチスポーツを利用した新たな海辺利用を目的としたもの。海辺は、多様な生物が生息・生育する空間であるとともに、人々の生活の場でもあり、この貴重な空間を利用・保全し、自然と共生することで、我が国の文化・歴史・風土を形成していこうというものです。ビーチスポーツ、マリンスポーツによる海辺の利用、見るだけでなく来場者が参加できるのもこのイベントの特徴です。また、選手は競技するだけでなく「ゴミバスターズ」としてイベント会場周辺のゴミ拾いにも参加します。「ビーチスポーツを愛する地球の仲間として宣言します。私たちは、いつまでも美しい海、きれいなビーチでスポーツができるよう自然環境を大切に守り、子どもたちに受け継ぐことを誓います」という〈環境宣言〉のもと選手達は快晴のゴールデンウィークの浜辺でさわやかな汗を流しました。

ハンドボール競技は、大崎電気、HC東京の日本リーグ2チームが参加し、岩本真典選手、中川善雄選手、宮崎大輔選手など日本代表選手も参加しました。選手達は午前と午後のエキジビションマッチと、ビーチハンドボールスクールでは一般参加の方と共に汗を流しました。また、空き時間には「ゴミバスターズ」として浜辺を清掃しました（写真右下）。



参加した大崎電気とHC東京の選手



「ゴミバスターズ」の選手

第10回アジア女子ハンドボール選手権大会

兼2005年女子世界選手権アジア予選
兼第9回ヒロシマ国際ハンドボール大会

開催要項

1. 目　的　1994年に広島市において開催された第12回アジア競技大会を記念して開催次年度から始まった大会で、今年は女子の大会で第10回アジア女子選手権（2005WC予選）を兼ねる。国際平和文化都市を標榜する広島において国際競技を行うことにより、ハンドボールを通じて参加国との友好を深める。
2. 主　催　アジアハンドボール連盟・㈶日本ハンドボール協会・中国新聞社
3. 主　管　広島県ハンドボール協会・広島市ハンドボール協会
4. 後　援　外務省・文部科学省・㈶日本オリンピック委員会・㈶日本体育協会
（予定）広島県・広島市・広島県教育委員会・広島市教育委員会・㈶広島県体育協会・㈶広島市スポーツ協会・㈶広島平和文化センター・NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビテレビ新広島・広島エフエム放送・中国ケーブルテレビジョン・広島リビング新聞社
5. 特別協賛　株式会社モルテン
6. 協　賛　広告協賛各社
7. 大会期間　平成16年7月23日（金）～7月25日（日）
8. 競技会場　広島市東区スポーツセンター
9. 参加チーム　女子ナショナルチーム（日本・中国・韓国・チャイニーズタイペイ）
10. 日　程

7/23（金）	東区スポーツセンター	①韓国 vs 台北　17：00～ ②日本 vs 中国　18：40～
7/24（土）	東区スポーツセンター	①日本 vs 台北　13：30～ ②韓国 vs 中国　15：30～
7/25（日）	東区スポーツセンター	①台北 vs 中国　13：30～ ②日本 vs 韓国　15：30～

11. 入場料

	前売券	当日券	通し券
一般	800円	1,000円	2,000円
高校生	400円	500円	1,000円

※「がんばれ10万人会」のパスカード及びペアチケットが使用できます。
前売券はチケットぴあ、広島県ハンドボール協会で販売。

12. 問合せ先　広島県ハンドボール協会　山本
TEL：082－243－2240　FAX：082－246－8882

学校体育検討委員会便り

平成16年度第7回ハンドボール研究集会

テーマ　「ボール運動教材としてのハンドボールーその7ー」

趣　旨　本研究集会では、ハンドボールの魅力や諸特性に対して認識を深めると同時に、子どもたちの発育・発達に見合ったハンドボールの授業づくりについて研修する。

主　催　㈶日本ハンドボール協会

主　管　熊本県ハンドボール協会　山鹿市教育委員会

後　援　文部科学省　熊本県教育委員会（いずれも申請中）

対　象　小学校・中学校および高等学校教諭　教員養成大学学生・大学院生および教官　地域スポーツ指導者　日本ハンドボール協会J級指導員等

会　期　平成16年8月3日（火）・4日（水）

会　場　熊本県山鹿市総合体育館

日　程　8月3日（火）

受　　付　12：00～12：30

開 会 式　12：30～12：50

講　　演　12：50～13：50

講演者　国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官／文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課教科調査官　今関豊一

研究発表　14：00～15：10

実技研修　15：30～17：00

講師　名古屋市教育委員会青少年室　角　紘昭

交 流 会　18：00～20：00

8月4日（水）

受　　付　8：30～9：00

授業提案　9：00～11：00

小学校高学年「ハンドボール」授業

小学校中学年「ハンドボール」授業

講　　義　11：00～12：00

講師　秋田大学教育文化学部教授　林　恒明

閉 会 式　12：00～12：15

参加費　4,000円（資料代、および保険料込み。当日受付にて徴収いたします。）

参加申込　・氏名　・年齢　・勤務先　・連絡先住所　・電話番号　・交流会参加の有無を明記の上（書式自由）、ハガキまたはファックスにて大会事務局までお申し込み下さい。

締切り日：特に設けません。

発表申込　研究集会のテーマに関係する研究、および実践報告を募集します。発表を希望される方は、発表テーマをご記入の上、学校体育ハンドボール検討委員会事務局（下記）までお申し込み下さい。

学校体育ハンドボール検討委員会事務局
〒010－8502 秋田県秋田市手形学園町1-1
秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育講座
佐藤　靖気付
TEL(018)889-2577 FAX(018)889-2577
E-mail:yasushi@ed.akita-u.ac.jp

大会事務局
〒860-0862 熊本県熊本市黒髪7丁目101-3
熊本県ハンドボール協会内
TEL(0968)46-3191 FAX(0968)42-3031
E-mail:kumahand@abelia.ocn.ne.jp

締切り日：平成16年7月16日（金）

尚、発表に関してご不明な点はお問い合わせ下さい。

◆ハンドボール・アラカルト◆　切手に見るハンドボール（7）

アテネオリンピックも間近に迫って参りました。先月号に引き続きオリンピック切手を紹介致します。今回は1984年のロサンゼルス大会（アメリカ合衆国）です。西側諸国がソ連のアフガニスタン侵攻に抗議しモスクワ大会をボイコット、報復として、ソ連はロサンゼルス大会出場をボイコットしました。大会は男女ともユーゴの優勝、アジアとして女子韓国が銀メダル、中国の銅メダルも特筆。

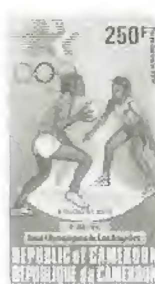
男子は12カ国、女子は6カ国が参加しました。優勝は男子はユーゴが、準優勝西ドイツ、3位はルーマニア。日本は1次リーグ1勝4敗、9・10位決定戦でアメリカに16-24で敗戦、10位であった。女子リーグ戦で行われ優勝は5戦全勝でユーゴ、準優勝韓国、3位は中国でした。

日本チームの監督は市原則之氏（現日本協会副会長）、コーチ野田清氏、選手はGK井藤英忠氏、大畑孝広氏、FP蒲生晴明氏（現日本協会理事）、山本伸二氏、松井幸嗣氏（現全日本監督）など。

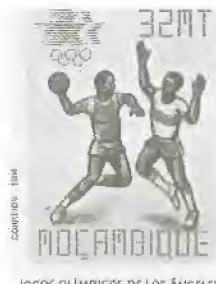
今回はアフリカ地域のハンドボール切手を紹介致します。ニカラグア（切手①）、カメルーン（切手②）、モザンビーク（切手③）、ブルキナファン（切手④）



切手①



切手②



切手③



切手④

スコアールーム ①

平成15年度・第27回全国高等学校ハンドボール選抜大会

開催期日：平成16年3月26日（金）～31日（水）
会　　場：神奈川県立体育センター　藤沢市秋葉台文化体育館　藤沢市秩父宮記念体育館　茅ヶ崎市総合体育館　戸塚スポーツセンター

【男子】

■1回戦

駿台甲府（山梨県） 23（10－8、13－13）21 育英（兵庫県）
興南（沖縄県） 35（18－11、17－11）22 県立高松（香川県）
岡崎城西（愛知県） 31（14－2、17－11）13 高岡向陵（富山県）
長崎日本大学（長崎） 18（10－6、8－10）16 湘南工科大学付属（神奈川県）
熊本市立千原台（熊本県） 39（18－16、21－17）33 北陸（福井県）
県立徳山（山口県） 35（17－10、18－14）24 東京学館（千葉県）
上宮（大阪府） 30（19－10、11－13）23 久留米工業大学付属（福岡県）
大分国際情報（大分県） 22（10－7、12－14）21 県立盛岡南（岩手県）

■2回戦

瓊浦（長崎県） 27（13－9、14－4）13 駿台甲府
学校法人石川（福島県） 24（11－5、13－13）18 県立四日市工業（三重県）
県立羽後（秋田県） 25（12－9、13－15）24 岐阜市立岐阜商業（岐阜県）
法政大学第二（神奈川県） 32（18－13、14－16）29 大分国際情報
府立向陽（京都府） 24（13－8、11－13）21 県立横浜南陵（神奈川県）
県立小林工業（宮崎県） 38（17－7、21－10）17 県立徳山
県立伊奈（茨城県） 25（13－9、12－12）21 県立氷見（富山県）
浦和学院（埼玉県） 29（12－8、17－10）18 岡崎城西
興南 31（18－8、13－10）18 北海道釧路工業（北北海道）
県立那覇西（沖縄県） 34（18－11、16－13）24 県立紀北農芸（和歌山県）
県立下松工業（山口県） 20（8－8、12－7）15 上宮
岡山理科大学付属（岡山県） 24（10－9、14－14）23 此花学院（大阪府）
熊本市立千原台 35（17－11、18－8）19 北海道札幌月寒（北海道）
愛知（愛知県） 24（11－11、13－4）15 県立富岡（群馬県）
県立不来方（岩手県） 25（11－10、14－3）13 長崎日本大学
県立香川中央（香川県） 38（17－4、21－11）15 國學院大學栃木（栃木県）

■3回戦

瓊浦 28（16－12、12－8）20 学校法人石川
興南 34（16－12、18－10）22 県立伊奈
浦和学院 34（18－9、16－12）21 県立那覇西
県立不来方 28（14－10、14－14）24 岡山理科大学付属
愛知 22（11－12、11－7）19 県立下松工業
県立香川中央 25（13－12、12－12）24 熊本市立千原台
法政大学第二 37（21－7、16－9）16 府立向陽
県立小林工業 33（20－8、13－12）20 県立羽後

■準々決勝

興南 25（14－11、11－10）21 瓊浦
愛知 30（16－13、14－15）28 法政大学第二
県立不来方 22（13－10、9－10）20 浦和学院
県立香川中央 25（7－11、12－8）23 県立小林工業
（3－2延長3－2）

■準決勝

興南 29（12－11、17－13）24 愛知
県立香川中央 29（15－8、14－12）20 県立不来方

■決勝

興南 23（11－8、12－13）21 県立香川中央

【女子】

■1回戦

高水（山口県） 25（14－8、11－12）20 県立不来方（京都府）
県立福井商業（福井県） 17（7－4、10－10）14 四天王寺（大阪府）
県立総社南（岡山県） 22（11－9、11－8）17 県立高山（岐阜県）
佼成学園（東京都） 27（16－6、11－6）12 佐賀女子短大付属（佐賀県）
白梅学園（東京都） 29（13－8、16－8）16 県立氷見（富山県）
横浜創英（神奈川県） 26（12－12、14－9）21 県立陽明（沖縄県）
県立吉井（群馬県） 21（11－13、10－4）17 夙川学院（兵庫県）
県立栃木商業（栃木県） 26（12－13、14－7）20 県立小杉（富山県）
小松市立（石川県） 25（13－10、12－12）22 県立浦添（沖縄県）

■2回戦

府立洛北（京都府） 28（14－6、14－11）17 高水
熊本国府（熊本県） 25（11－11、14－10）21 県立横浜南陵（神奈川県）
県立大曲農業（秋田県） 30（13－6、17－9）15 神戸星城（兵庫県）
県立浦添（沖縄県） 32（16－7、16－7）14 白梅学園
県立郡山東（福島県） 22（11－9、11－10）19 佼成学園
県立徳山（山口県） 30（17－7、13－17）24 守山市立守山女子（滋賀県）
昭和学院（千葉県） 34（21－7、13－8）15 静岡市立清水商業（静岡県）
桜花学園（愛知県） 27（12－10、15－7）17 県立吉井
暁（三重県） 22（9－9、13－6）15 県立松山北（愛媛県）
県立福井商業 25（13－5、12－11）16 県立香川中央（香川県）
県立松橋（熊本県） 27（17－6、10－8）14 聖和学園（宮城県）
小松市立 26（12－6、14－7）13 横浜創英
県立総社南 27（17－2、10－8）10 北海道札幌月寒（南北海道）
浦和実業学園（埼玉県） 25（15－10、10－10）20 宣真（大阪府）
県立水海道第二（茨城県） 26（14－4、12－9）13 県立日向（宮崎県）
県立栃木商業 31（14－1、17－1）2 北海道紋別北（北北海道）

■3回戦

府立洛北 18（10－8、8－8）16 県立水海道第二
昭和学院 24（9－8、15－9）17 県立福井商業
桜花学園 25（11－10、14－7）17 県立松橋
浦和実業学園 21（12－8、9－7）15 県立栃木商業
熊本国府 27（11－10、16－13）23 県立総社南
県立郡山東 21（8－7、13－7）14 県立徳山
県立浦添 32（17－9、15－13）22 県立大曲農業
小松市立 25（12－4、13－8）12 暁

■準々決勝

昭和学院 23（13－11、10－8）19 府立洛北
県立浦添 26（12－8、14－8）16 熊本国府
桜花学園 32（14－12、18－6）18 浦和実業学園
小松市立 27（18－5、9－14）19 県立郡山東

■準決勝

県立浦添 30（17－4、13－11）15 昭和学院
小松市立 21（13－12、8－7）19 桜花学園

■決勝

小松市立 25（13－10、12－12）22 県立浦添

スコアールーム② 日本ハンドボールリーグオールスター戦

開催期日：平成16年3月28日(日)
会　　場：山口県・周南市総合スポーツセンターメインアリーナ

＜男子＞

ALL WEST　42（20—17、22—22）39　ALL EAST

《戦況報告》

日本をリードするハンドボールのスター宮崎選手を擁するALL EASTがトリッキーなパスやダイナミツクなシュートで試合の主導権を握る。対するALL WESTは地元山口県出身の広政、東選手らのコンビによるスカイプレーやGK吉井、坪根らの攻撃参加などにより会場を盛り上げた。

会場全体が期待する宮崎選手の滞空時間の長いジャンプやトリツキーなパスはオールスター戦にふさわしくハンドボールの魅力を存分に発揮していた。また、コートの中の選手が自分の持ち味のプレーを見せてくれた。

試合は42対39でALL WESTが勝利した。最多得点は11点の山口修選手でMVPを獲得し、敢闘賞は10得点の宮崎選手であった。日本リーグを代表するにふさわしいファンを魅了する試合だった。

＜女子＞

ALL WEST　29（12—13、17—14）27　ALL EAST

《戦況報告》

前半、立ち上がり両チームのGKの好セーブが連続し、硬直した試合展開でスタートした。ALL WESTの4番青戸選手がポストシュートを決めれば、すかさずALL EAST2番中村選手の絶妙なパスフェイントからのカットインシュートを決めるなど、一進一退の攻防が繰り広げられた。前半終了直前にALL EAST6番早船選手のミドルシュートが決まって13－12でALL EASTのリードで前半を折り返した。

後半、立ち上がりALL WEST2番呉選手のシュートで同点に追いつき、再び一進一退の展開となった。残り15分、チームタイムアウトを取ったALL EASTはその後8番藤浦選手のポスト、7番稲吉選手の速攻で23－21と2点のリードで混戦を抜け出すかに思われたが、この試合のMVPに輝いた4番青戸選手のポストシュート、2番呉選手の連続得点、10番東濱選手のミドルシュートなどで再びリードを奪ったALL WESTが29－27でスピードあふれる熱戦を制した。敢闘賞にはALL EASTのGK細谷選手が選ばれた。

《スコアールーム③》　第22回山口県学生ハンドボール選手権大会春季大会

開催期日：平成16年5月1日(土)、2日(日)　　会　　場：山口大学本部体育館

■リーグ戦

山口大学本部	23－8	宇部高専
山口大学医学部	34－10	徳山高専
山口大学本部	28－8	徳山高専
山口大学医学部	26－24	宇部高専
宇部高専	29－7	徳山高専
山口大学本部	36－15	山口大学医学部

■結　果

1位	山口大学本部	3勝
2位	山口大学医学部	2勝1敗
3位	宇部高専	1勝2敗三
4位	徳山高専	3敗

■得点王　釘宮　成二（山口大学医学部）

■ベストレフェリー

藤本　靖雄（山口大学本部）
鈴田　雅貴（山口大学本部）

■優秀選手

萩原　圭吾（山口大学本部）
東島　章浩（山口大学本部）
藤本　靖雄（山口大学本部）
古庄　正英（一山口大学医学部）
釘宮　成二（山口大学医学部）
松村晋大朗（宇部高専）
友田　浩介（宇部高専）



平成16年3月常務理事会

日　時　平成16年3月13日（土）
場　所　日本青年館　B1 MR1
出席者　山下副会長、市原副会長、大西専務理事、常務理事7名、監事1名、参事1名、事務局5名

審議事項

1. 今後の強化・普及体制

資料により緒方常務理事と大西専務理事から今後の強化・普及体制の説明が成された。

特別プロジェクトに関しては期限を設け、重点科目を絞って行うことが大切。特別プロジェクトは協会の目玉とし、その精選は専務理事に一任し、担当者に関しても専務理事一任とする。

全員一致で、承認された。

2. 財源確保について

toto売り上げ減少に伴い、助成配分金も減少された。今後は競技団体にデビットカードが配布され、それを用いた購入実績により配分額が決定される。

資料により購入促進のための案が示され、協会として1000枚のデビットカードの申請を行う。購入し関しては理事、参事、評議員の協力を仰ぎ協会で一括購入を行う。

全員一致で、承認された。

3. 登録方法について

地方大会に於いて協会登録していないチームが大会に参加していないケースが見られる。登録システムに関しての見直しは必要でありこれを検討するためのプロジェクトを立ち上げ、担当者の選任は専務理事に一任する。

全員一致で、承認された。

4. H16、17会議日程について

資料により、H16、17会議日程が示された。H16においては従来通りとし、H17からは第1回評議員会を6/4、第1回理事会を6/18に実施することとする。

全員一致で、承認された。

5. 表彰規定（案）について

資料において改正案が提出された。現時点に於いては改正を行わず、審査項目について、平岡常務理事が表彰種別を作るなど至急検討し、案を再提出する。

条件付で、承認された。

6. H16年派遣役員について

資料が示され、大きな大会には会長が出席する。プログラムの会長挨拶文に関しては依頼のあった地元から原案を提出してもらい、それを日本協会でチェックする。

全員一致で、承認された。

7. toto助成金減額の件及び売上げ増対策（デビットカード）について

審議事項2の財源確保項で同時に議論された。

8. ナショナル監督等の選考に関する規程

資料が緒方常務理事より提出され、趣旨が説明された。次回常務理事会までに意見がある場合は緒方常務理事に申し出、専任コーチに関する項も加えた案を再提出する。

継続審議とする。

9. 報奨金について

全日本チームに関する報償制度は現時点に於いては設定されていない。資料の案が緒方常務理事より他競技の規程と共に提出された。

選手の身分の多様化、参加日当、賞金大会の扱い等を含め、「報奨金を出す」という方向で、さらに検討する。

継続審議とする。

10. 第1回東アジアクラブ選手権（KOR）日本協会派遣役員について

上記大会に山下副会長、市原副会長が役員として派遣される。日本協会として派遣役員1名の人選は専務理事に一任する。

帯同レフェリーとしては藤井・大熨（岡山）ペアを派遣する。

全員一致で、承認された。

報告事項

1. 全日本男子チーム報告

資料により市原副会長から第11回男子アジアハンドボール選手権大会兼第19回男子世界選手権大会アジア地区予選会の全日本男子チーム帯同報告が成された。4大会ぶりの世界選手権大会出場権を獲得することができたが、以下の課題が提出された。

- スタッフ問題：通訳・マネージャー担当のコーチの必要性
- 全日本選手指名にあたっての規程確立
- 協会執行部の海外視察
- 強化委員長付担当実務者の選任
- アジアのさらなる民主化
- 北京オリンピックに向けて中国とのさらなる交流の必要性

2. 寄付行為と委員会規程

平岡常務理事より全文をCDで配布するので、意見があれば申し出て欲しい旨説明報告がなされた。

3. 国体改革案について

資料により、現時点における改革案が示された。

4. 日本リーグ提訴に関する報告

資料により、通知を発送したことが報告された。

5. 今後の公認指導員制度について

資料により公認指導者の資格移動に関してのハンドボール競技としての案が示された。

6. H16年度JOC競技団体ランク一覧表

資料により平成16年度のJOC競技団体ランキングが示された。ハンドボールは平成15年度の「B」から「C」に降格されており、オリンピック出場の重要性が確認された。

7. がんばれ10万人会サポート会報告

資料が示された。

8. IHF臨時総会議事録

資料が示された。

9. ユニフォーム上の広告について

AHFの（新）広告規程が示された。

10. 東アジア上級役員セミナー（MOL）

上記セミナーに山下副会長、市原副会長が出席する。3名分の滞在費は支給されるので日本協会派遣1名の人選は専

務理事に一任する。

11. 第2回ビーチスポーツ in ODAIBA

資料により、上記催しへのエキジビション参加が田中氏より説明された。補助金が大会本部より補助される予定であるが、補助されない場合は普及予算内で対応する等日本協会としても協力する。

12. その他

・江成常務理事より「大会開催マニュアル（平成15/16年版）」が発行されたことが報告された。都道府県協会には数冊寄贈し、1000円/冊で販売する。
・GKの顔面ガードの使用、膝等のガードに関しての通達を出すことの報告が江成常務理事より成された。
・強化分析サポートの報告書が示された。特に神戸大会に於いて男子チームとの連携はうまくいった。データ等の管理に関して今後さらなる検討が必要であり、刊行に関しては時間を要する。
・ハンドボールコーチング研修会（3/21）の開催が平岡常務理事より述べられた。
・ハンドボール略語／用語に関してのリストが示された。
・ムササビシャツの取り扱いについて石井常務理事より述べられた。

殿水監事より任期の残り1年の更なる成果達成の期待が述べられ、山下副会長から挨拶がなされて、閉会する。

平成16年度4月常務理事会

日　時　平成16年4月10日（土）
場　所　日本青年館　BI MR2
出席者　山下副会長、市原副会長、大西専務理事、常務理事7名、監事2名、参事1名、事務局4名

冒頭、市原副会長から議事は前回のフォローからはじめ、担当者と期日を決めて実現することが大切であり、議事録にはそのことを明記させる旨挨拶が成された。

大西専務理事より、4月1日付で事務局長が兼子真参事に変わったことが述べられ兼子新事務局長から挨拶がなされた。

審議事項

1. オリンピックプロジェクト

大西専務理事から資料が提示され、説明がなされた。

プロジェクト副筆頭は冨田副会長にお願いする。

分類の「業界」を「経済界」に変更する。

実務を行う事務局の必要性が述べられ、事務局員の人的配置について大西専務理事が渡邉会長と話し合うが、暫定事務局として、緒方常務理事を担当として出発する。

北京オリンピック出場に絞った具体的基礎資料を次回常務理事会までに緒方強化担当常務理事が作成する。プロジェクトを出発させる準備として会長以下数名で準備会議を開催する。

「地域振興プロジェクト」における「全国に3000チームの小学生チームを作る」はスローガンとする。プロジェクトの具体的目標値は高田小学生委員長（北海道）を中心に年度ごとに都道府県協会で設置チームの目標数設定をする。

提示された組織図は、当初の出発点とする。

全員一致で、了承された。

2. 登録制度プロジェクト

大西専務理事から資料が提示され、説明がなされた。

来年度より登録料を改訂するためには、その必要性の具体的説明と方法を早期に作成する必要がある。登録制度については審判、10万人会、指導者等を一括した制度とする。

審判に関しては審判手当を級ごとに設定するなどの施策を斎藤審判担当常務理事が作成する。

検定料、大会における出店などについても検討を行う。

登録金の中に「ナショナル育成基金」として入れて集めることが出来る。

今年度中に①登録金の改訂、②制度の改善をまとめ、理事会の承認を得て来年度より実施の方向で検討する。

全員一致で、了承された。

3. 寄付行為について、表彰規程

平岡常務理事より資料が提出され、表彰規程の改訂が提案された。

さらに表彰について内規を設けて細則化する。内規案について平岡常務理事が次回常務理事会までに案を作成し提案する。

寄付行為の改正については、副会長を2名を3名に変更する改正案を早急に作成し文科省に提案、6月理事会を経て正式に文科省に提出する。

全員一致で、了承された。

4. ムササビTシャツについて

資料により石井常務理事が経過と在庫状況が説明する。

在庫を早期（1年以内）に全てさばくために、NTS、各連盟に協力を仰ぐ。そのための案を石井常務理事が次回常務理事会までに作成提案し、大西専務理事等で交渉を行う。

全員一致で、了承された。

5. NTSについて

蒲生NTS委員長より資料をもちいて、NTSシステムの運用と、強化委員会、指導委員会、審判委員会等との連携について説明がなされた。

指導者と小学生向けのDVDソフト作成のために物品売り上げの仮払いの形で制作費100万円の支出が認められた。

全員一致で、了承された。

6. 地域振興プロジェクト

角常務理事より資料の実施計画・会議開催などについて説明された。

全員一致で、了承された。

7. ナショナル選手育成ファンド

緒方常務理事より資料を用いて以下の内容の説明がなされた。

①強化に関する委員会・専門部会の組織及び役員名
　現在検討中。
②代表チーム監督・コーチ・プレイヤーに関する規定
　さらに意見を聞いて次回常務理事会までに案の形で提案する。
③報奨金規定について
④代表チーム監督について
　男子：松井監督に願いする。コーチについては現在の3名を留任させる。
　女子：西窪監督の留任で会社とも合意。コーチについては、強化委員会で現在検討中。
　※大学関係者が監督になった場合には個人負担金の免除申請等の方法を設けるための内規を別途設ける。細則については緒方常務理事が次回常務理事会までに案を提出する。
⑤16年度スポーツ振興基金《日常スポーツ活動》ユースエリート募集について
　ジュニア世界選手権出場ナショナル選手等より選抜し、人選については強化委員会に一任する。

⑥ナショナル選手育成ファンド（案）
「ファンド（基金）」では元金を使うことはできないので「奨学金制度」とする。
宮崎大輔が大学を中退して大崎電気に入社した件に関しては返還請求を大崎電気に対して行う。
⑦代表チーム合宿
男子：4/19-21 JISS、女子：4/19-23 プラザー工業体育館
全員一致で、了承された。

8. H17 兵庫ジャパンオープントーナメント大会について

江成常務理事より資料を用い、兵庫県がジャパンオープン以外の大会を国体リハーサル大会として認めて欲しい旨の希望が説明がなされた。
全員一致で、了承された。

9. 全日本総合選手権大会について

江成常務理事より開催地を大阪(H16)、福井（H17)、愛知（H18)、東京（H19：交渉中）であることが説明された。
全員一致で、了承された。

10. 2004 女子アジアビーチハンドボール大会について

江成常務理事より説明がなされた。
出場国は最大でも日中韓の 3 カ国であり 7/28（水)、富浦海岸で行う。
400 万円の単独事業として計画する。
全員一致で、了承された。

11. 広島国際兼女子アジア選手権大会

資料により山下副会長が説明を行う。
カザフスタンの出場に関しては AHF に確認する。
江成常務理事（競技担当）が公務で全日参加できないので山本氏を参事に推薦し、大会の実務を委任する。
全員一致で、了承された。

12. その他

ナショナルトレーニングセンターの体育館コートについて：
市原副会長より、ナショナルトレーニングセンターに建設予定のハンドボールコートに関して以下のような説明がなされた。ナショナルチームの施設使用料に関しては、ほぼ無料に近いので男女各 1 面設置する方向で交渉してはどうであろうか。2 面設置の方向で緒方常務理事を全権として交渉を行う。
全員一致で、了承された。

報告事項

1. H17 岡山国体大会におけるスポーツコート使用について

江成常務理事より岡山国体、鏡野町の競技会場では土の施設にビニールを引き、その上にスポーツコートを引いて行うことを地元が認めた。

2. 日体協評議員会報告

資料により山下副会長が説明を行う。ハンドボール協会の内規にも「倫理規定」を設ける。担当は平岡常務理事、期日は 6 月の第 1 回理事会まで。

3. JOC マーケティングプログラムについて

資料により大西専務理事が JOC の肖像権の取扱いの変更について説明がなされた。実施は平成 17 年度からで、エリート選手のいない競技には配分が削減される。

4. 日本人会ネットワークについて

平岡常務理事より以下のような説明がなされた。ナショナルチームが海外遠征を行う際に現地で協力してくれる「日本人会」を構成する必要がある。また、通訳やビデオ等のネットワークを作る。東アジアクラブでソウルに行った際に調査をお願いしたい。また、ナショナルチームが海外遠征で外国を訪れた際は積極的に現地の日本人と接触するよう努める。

5. 10 万人会

平岡常務理事より資料が提示され 3 月若干の伸びのあったことが報告された。さらに都道府県会員の増加に力を入れる。

6. 指導者制度について

角常務理事より資料が提示され、説明が成された。
新資格移行に当たり、旧資格で受講中者に対する最終講習をインターネットで公示したことの説明が成された。
指導者は、今後公認指導員資格を取得するように各都道府県協会・連盟に通達を出すようにとの発言がなされた。

7. 第 28 回日本リーグ報告（プレーオフ、オールスター戦）

川上常務理事より資料が提示され説明が成された。プレーオフ、オールスター共多くの観客を集め、チャレンジリーグも好評であった。

8. 第 1 回東アジアクラブ選手権について

日本リーグチャンピォンの男子ホンダ、女子広島メープルレッズが 4/14 から韓国で行われる表記大会に参加する。早川氏が同行し、機関誌に記事を掲載する。

9. 第 2 回ビーチスポーツ in ODAIBA

表記大会の要項が資料で示された。

10. 事務局体制について

事務局長が替わり、新体制の報告が成された。
事務局員の給料については一両日中に決定する。

11. 事務局連絡

兼子事務局長から以下の事項の資料が示され説明が成された。
文部科学省実地検査報告、文部科学省「日本協会議事録」に関する指摘事項については特に重要である。
協会役員が出張する際には、仮払い届けばかりでなく、「出張届」を併せて今年度から提出する。
経費節減の各種会議の案内、出欠届けはメールにて行う。ただし、印鑑の必要な委任状については現状通り郵送で行う。
仲裁条項を日本協会内記に入れる必要があるので、兼子事務局長が JOC で確認し、大西専務理事と平岡常務理事に報告する。
国際関係の事務内容が資料により平岡常務理事から報告された。

12. その他

市原副会長から①大阪ガスの日本リーグ撤退、②ソニーの監督交代、③ホンダの本社支援縮小について報告された。日本リーグチームの運営強化と選手の自覚、教育の必要性も併せて述べられた。
平成 16 年度全国大会担当審判員が斎藤常務理事より報告された。
徳高参事のワシントン赴任に伴い、辞表が提出されたことが大西専務理事より報告された。

竹野監事から、資料の事前配布などにより重要事項の重点的に中身の濃い議論が出来るよう発言と、挨拶がなされて閉会する。

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」4・5月入会・継続会員

■4月会員…【北海道】加藤慶仁　【岩手】上町祐隆　【群馬】高橋　泉　【埼玉】西山逸成、佐藤秀明　【東京】出原　理、杉山　茂、兼子　真、中澤重夫　【神奈川】佐分正典　【長野】加藤雅之、清水　健　【石川】酒谷信彦　【福井】太田　博　【静岡】宮内　伶　【愛知】西川勤也、金川康夫、五十川　玲、丹羽彩乃　【岐阜】森　勝博　【京都】久保公雄、久保靖子　【大阪】小山　章、藤田洋之、逢阪静男　【和歌山】能木　進　【広島】大橋季彦、山下明子　【愛媛】松原一恵、松原誠起　【大分】小田晴美、阿部末忠

■5月会員…【北海道】山辺文彰、武田節夫　【岩手】高橋元一、太田利彦、菊池正道　【群馬】高橋萬知子　【埼玉】西濱弘幸　【千葉】高橋勝彦　【東京】塩川安賢、杉山広樹、緑川正博、田口敬蔵、梶間珠美　【神奈川】斎藤達也、松岡正彦、近久紀人、吉澤和美、斉藤航大、小澤摩里子、伊藤信夫　【長野】羽田浩一　【愛知】浅野克彦、村木啓作、安藤　孝　【大阪】吉田敏明、車　真佐克、伏田雅人、北岡大覚、門元良子、大井隆史、中山恒志、大西和雄、草ノ井文子、幸田富久子、幸田敦子　【兵庫】都倉達殊、西澤倫雄、狩野幸介、松本茂宏　【広島】有田　忍　【福岡】松尾勝也、下田昭弘、田中　守　【熊本】中川光明

【7月の行事予定】

【大会】……………………………………………………

7月1日(水)～7日(水)
　第8回アジア女子ジュニア選手権(タイ・バンコク)
7月16日(金)～18日(日)
　第24回全国クラブ選手権大会・西(高知市)
7月17日(土)～19日(月)
　第24回全国クラブ選手権大会・東(福島県)
7月22日(木)～25日(日)　第10回アジア女子選手権(広島市)
7月23日(金)～25日(日)　第12回全国マスターズ大会(花巻市)
7月30日(金)～8月1日(日)　第17回全国小学生大会(京田辺市)

【会議】……………………………………………………

7月25日(土)：常務理事会

寄　付

5月14日、愛媛県の越智武さんから日本協会宛の寄付がありました。有難うございました。

HAND BALL　CONTENTS　JUN・JUL

(登録チームの購読料は登録料に含む)

HANDBALL

MIKASA
http://www.mikasasports.co.jp

高いグリップ力を実現！
ミカサの人工皮革ハンドボール



HP300

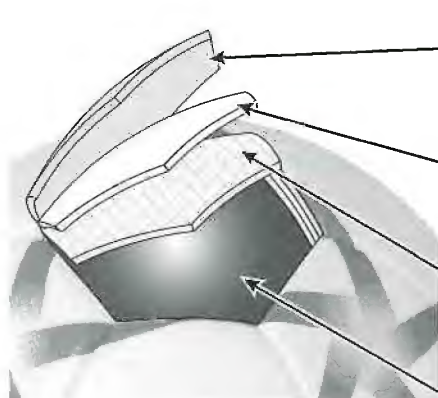
検定球3号、人工皮革
男子(一般･大学･高校)
カラー：イエロー



HP200

検定球２号、人工皮革
女子(一般･大学･高校)・中学校
カラー：イエロー

数々のテクノロジーがプレイをサポートします



ソフトで滑りにくい人工皮革

特殊フォームが触感を向上させ、
衝撃をやわらげます

丸さとサイズを保つ特殊補強布

バルブ落下防止構造のラテックスチューブ

株式会社 ミカサ

(財)日本ハンドボール協会編 『ハンドボール』 第四四一号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十六年六月二十六日印刷 平成十六年七月一日発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 〇〇一二〇―七―一〇二九三
編集兼発行人 大西武三
定価 年間三三〇〇円